

学校だより

北門

【校訓】

誇りと責任

旭川市立北門中学校

NO. 12

平成29年 3月24日

感謝

校長 岡本明彦

本日で平成28年度の全教育課程を修了しました。生徒の成長の姿を様々な場面で見取ることができました。3月15日の卒業式では、194名の3年生が北門中を巣立ちました。毎年のことですが、卒業生を送り出す度に「社会で生きる（生きる）力」を十分に付けてやることのできたかということをお問自答します。

情報化、国際化、価値観の多様化など、社会はめまぐるしく動き変化し、先が予測できない時代に向かっています。そのために、自分を見失ってしまいがちです。そういう時こそ、しっかりした自分づくりが大切です。生き方にもつながっていくと思います。

私の教員生活は昭和55年にスタートしましたが、まだコンピューターも多機能とはいえず、携帯電話もない時代です。それでも高度情報化社会の入り口でした。

教員生活8年が過ぎたバブルの頃にアメリカのアспенという都市に行く機会を得ました。小学生を引率し、12カ国の子どもが参加するスキー大会へ参加したのです。一般の家庭にホームステイをしました。

私のアメリカのイメージは合理主義で大量消費の使い捨て文化でした。ところが、ステイ先のご家族は、つつましく、人情に厚く、世話やきで「おもてなし」の心をもった人たちでした。物があふれる時代に入りかかっていた日本人の私に一石を投じてくれたような気がします。

「人生において一番大切なことは素晴らしいパートナーに巡り会うことだ」ご夫婦が私に教えてくれたことです。二人とも教員でしたから、友だちや仕事仲間や恩師や一生の伴侶をパートナーとしたのだと思います。

卒業式で山本卓PTA会長様が「人との出会い」のお話しをされていました。私との出会いがプラスになっていたのなら、こんなに嬉しいことはありません。

◎第56回卒業証書授与式 194名の生徒巣立つ！

3月15日、PTA会長 山本卓様、銀の滴実行委員 荒井武様、各地区市民委員会会長様、校区内小学校長様など17名のご来賓にご臨席賜り、第56回卒業証書授与式を挙行了しました。

学校長式辞では、卒業生に、物事のプラスとマイナスの面を捉え、流行に左右されことなく生活してほしいこと、元ウルグアイの大統領ホセ・ムヒカ氏の言葉を元に、自分の

夢を追いかけることと共に他人の幸せを考える人になってほしいというメッセージが送られました。

来賓祝辞では、PTA会長 山本 卓様から、「今までの出会い、そしてこれからの出会いを大切に」、「出会いは人を成長させ、別れは人を大きくする」というメッセージが送られました。

在校生送辞、卒業生答辞、そして、在校生合唱「心をこめて」、卒業生合唱「時をこえて」、全校合唱「旅立ちの日に」と式がすすむにつれ、感極まり目頭を押さえる生徒が見られました。

来賓の方々からは、お帰りの際に「素晴らしい卒業式でした。」「良い卒業式でした。」と声をかけられました。

前日には、同窓会事務局長 谷川 敏様をお迎えし、同窓会入会式を行いました。本年度卒業生194名の加入により、本校同窓会会員は15,510人となりました。

◎学校関係者評価委員会から

昨年12月に保護者・生徒アンケートを実施し、概略について、学校だより1月号でお知らせいたしました。

学校においては、保護者・生徒のアンケート結果やみなさんの声を踏まえ、教職員自己評価を行いました。

その後、学年・校務分掌・特別委員会で、今年度の教育活動を振り返り、成果や課題の分析、改善案を検討しました。

3月7日(火)には、保護者・生徒アンケートの結果、教職員自己評価の結果、今年度の教育活動の分析と次年度の改善案について、学校関係者評価委員の方々に説明し、評価・ご意見をいただきました。

以下に、学校関係者評価委員の方々からいただいたご意見を掲載いたします。

裏面には、本年度の教育活動の保護者・生徒・教職員自己評価の概略と次年度の教育活動の重点、改善策を掲載しました。ご覧ください。

学校評価に関わって

- 「PTA活動には、積極的に参加している。」について
 - ・課題として上がっているが、前年度から見ると数値は伸びている。美化係で連絡網を整備するなど、親同士が連絡を取り合えるようにしたことが一因かも知れない。次年度は、他の専門部にも生かしたい。
 - ・いつの時代もこの様な感じ(達成率が低い状況)でないだろうか。学校に来やすい状況・環境をどう作っていくか工夫のしどころ。
- 「見通しを持って計画的に授業や家庭での学習に励んでいる。」の達成率が低い状況について
 - ・社会に出れば競争がある。子どもがもまれる環境をつくるのが大切である。

全国学力・学習状況調査に関わって

- メディアへの接触状況が長い、ヘビーユーザーの比率が全道・全国よりも多い状況について
 - ・持つなど言うのは、今の時代無理である。携帯安全教室で、ネット犯罪だけでなく、子どもたちにメディアの利用と学力の状況や健康面への影響なども伝えてことが必要。PTAの研修を行うこと、家庭でのルール作りが必要。
- 生徒質問紙で、全道・全国より、「将来の夢や目標を持っていますか」、「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」の肯定的回答率が高いのは良い。今後の学習意欲へつながっていく。他から押しつけられた学習は身につかない。
- 生徒質問紙で、「自分には、良いところがあると思えますか。」の項目が、全道・全国より高いのはすごい。

学校改善プランに関わって

特になし

その他

- ・これからの子どもたちには、「世界とどうか関わっていくか」ということが大切になる。自己主張、自己表現が大切になる。教育において如何に育んでいくか。

北門中学校学校関係者評価委員

- PTA会長
山本 卓 様
- 学校評議員
大川 勝人 様
池田 佳史 様
佐々木 宏 様
柴 静香 様